



P R E S S R E L E A S E

* 本リリースは 2014 年 2 月 25 日に英国と米国で発表されたプレスリリースの抄訳です。

2014 年 2 月 28 日

**CSR、スマートホームのあらゆる制御をスマートフォンで実現する
業界初の画期的な Bluetooth® Smart 対応ソリューションを発表**

CSR Mesh により、Bluetooth® Smart を活用した IoT アプリケーション開発の時代へ

[CSR plc](#)(ロンドン証券取引所 略号:CSR、NASDAQ 略号:CSRE、以下「CSR」)は本日、スマートフォンに、Internet of Things(モノのインターネット:以下「IoT」)の中核機器としての役割を担わせることができるよう設計された、[Bluetooth® Smart 対応の新しいソリューション](#)、CSR Mesh を発表しました。今回発表したこの CSR Mesh は、革新的技術により、ほぼ無数の Bluetooth Smart 対応機器をネットワーク経由で簡単に相互接続し、それら全てを一台のスマートフォンあるいはタブレット、PC などから直接制御できるようにした業界初のソリューションです。

スマートホームや IoT 向けアプリケーションのために最適化されたこのソリューションの設定および制御プロトコルは、[CSR101x™](#) や [CSR8811™](#)などすでに市場で高い評価を得ている CSR の各種 [Bluetooth Smart 対応デバイス](#)で共通です。このため、エンドユーザーは、照明や暖房、家電機器や警備システムなど、家庭内のあらゆる Bluetooth Smart 対応機器を、どの部屋からでも制御することができます。エンドユーザーの快適性、利便性を徹底して追求し、このソリューションは、複雑な設定やペアリングが不要で、ルーターなどのアクセス機器を経由する必要もないプロトコルをベースに構築されています。

CSR のビジネスグループ担当シニアバイスプレジデント、アンソニー・マレー (Anthony Murray) は次のように述べています。「Zigbee や Z-Wave といった他のホームオートメーション用接続ソリューションとは異なり、CSR Mesh は接続範囲の制約や、ハブを設置する必要がないため、家庭内のどこにいても、モバイル機器から直接、確実に制御することができます。CSR は IoT の推進に積極的に取り組んでおり、今回発表した Bluetooth Smart 対応ソリューションも、製品開発の様相を一変させるものだと確信しています。機器開発メーカーは、エンドユーザーから寄せられる『どこからでも、簡単、確実に使える本物のホームオートメーションを』という強い要求に応える製品を、新たな専用ソリューションの開発や機器追加の必要さえずなく、提供できるようになるのです」

CSR Mesh は Bluetooth Smart のプロトコルを採用し、ネットワーク内で Bluetooth Smart 対応機器間のメッセージのやり取りを行います。メッセージの送信は、個々の機器ごと、あるいはグループ化した各機器に向けて、のいずれも可能です。また各機器を複数のグループに帰属させることもできます。機器制御は、たとえば照明スイッチなどの Bluetooth Smart の標準規格対応機器によって行えるほか、現在市販されている多くのスマートフォンやタブレットを経由しても行えます。

「CSR Mesh は、スマートフォンによってさまざまな機器を制御できるようにするだけではありません。機器開発者は、CSR Mesh を活用することで、多様な機器が相互に直接情報をやり取りするインテリジェンスをネットワーク上に構築する機会を同時に手にすることができます。たとえば部屋に入ると同時に照明が灯るホームオートメーションのように、CSR Mesh はIoT の未来を着実に実現させていくものです。CSR は、すでに多数の企業に対して、CSR Mesh を搭載した新製品の開発支援を行っており、今後このソリューションによってスマートホーム市場に弾みがついていくものと、大いに期待しています」とマレーは述べています。

CSR では、機器開発メーカー各社がより短期間で製品化、市場投入できるよう支援するため、本年 4 月より、開発者用キットの提供を開始する予定です。このキットでは、Android および iOS 対応アプリケーションのソースコード、CSR Mesh バイナリライブラリへのアクセスなどが提供されます。

###

* 本リリースは 2014 年 2 月 25 日に英国と米国で発表されたプレスリリースの抄訳です。
原文は、<http://www.csr.com/news/pr/2014/csr-mesh> をご参照下さい。

関連リソース(英語)

*動画による CSR Mesh のイメージ及び開発者による解説: <http://youtu.be/FtLBazKoFq8>

*CSR Mesh の補足ブログ:「遂に IoT アプリケーションに Bluetooth Smart を活用できる時代が到来」
<http://www.csr.com/blog/2014/02/bluetooth-smart-comes-of-age-for-internet-of-things-applications/>

*CSR Mesh スマートフォン制御アプリ イメージの高解像度画像ダウンロード:

http://www.csr.com/sites/default/files/press-release/hi-res-images/csr_mesh_smartphone_control_light.jpg

http://www.csr.com/sites/default/files/press-release/hi-res-images/csr_mesh_smartphone_control_dark.jpg

*CSR Mesh 照明コントロールの高解像度デモ画像ダウンロード:

http://www.csr.com/sites/default/files/press-release/hi-res-images/csr_mesh_lighting_demo_a.jpg

http://www.csr.com/sites/default/files/press-release/hi-res-images/csr_mesh_lighting_demo_b.jpg

http://www.csr.com/sites/default/files/press-release/hi-res-images/csr_mesh_lighting_demo_c.jpg

*CSR の各種 Bluetooth Smart 対応ソリューションについての詳細:

<http://www.csr.com/products/technology/low-energy>

CSR について:

CSRは、位置情報検知(ナビゲーション)、メディアリッチ、クラウド・コネクティビティの分野に革新的なシリコンおよびソフトウェア・ソリューションを提供するグローバル企業です。当社のプラットフォームは車載ナビおよびインフォテインメント、デジタルカメラ、画像処理、家庭用インフォテインメント、ワイヤレス・オーディオ市場向けに最適化されています。CSRは、オーディオビジュアル、コネクティビティおよびロケーション・テクノロジーなどの様々なマーケットで多様化する課題に対応するソリューションを提供し、それらは自動車、コンピュータ、家庭用および携帯機器マーケットをリードする主要企業に採用されています。CSRのテクノロジー・ポートフォリオは以下の通りです。

GPS/GNSSシステム、Bluetooth、Wi-Fi、FM、NFC、aptXおよびcVcオーディオ・コーデック、JPEG、MPEG、H.264画像処理、IPS印刷、マイクロコントローラ、DSPおよびブロードバンド・レシーバー。これらテクノロジー・ソリューションおよびマーケット・プラットフォームを活用頂くことで、採用メーカーはエンドユーザーに優れたユーザー体験をご提供いただけます。さらに詳しい情報および最新情報は

当社Website <http://www.csr.com/japan/> [technical blog](#) [CSR people blog](#)

及びSNSサイト [YouTube](#)、[Facebook](#)、[twitter.com/CSR plc.](https://twitter.com/CSR_plc) をご覧ください

将来予想に関する記述

本プレスリリースには、CSR のBluetooth® Smartプラットフォーム及びそれらが家電製品に搭載された場合に発揮される性能、ならびにその他の将来発生しうる事象またはそれらがCSRに及ぼす潜在的影響について、過去の事実以外の情報であって、かつ米国の1995年民事証券訴訟改革法(United States Private Securities Litigation Reform Act of 1995)において「将来予想に関する記述(forward looking statements)」との解釈が成り立ちうる声明(将来の事業または業績に関する経営陣の計画及び目標に関する所信表明、またはそれらに関する仮定を含む)を含んでいます。これらの予想に関する記述は、「予定である」、「提供できる」、「提供する」、「可能にする」、「強化する」、「実現する」、「設計されている」、あるいはそれらに類似した表現で特定できます。CSRのBluetooth® Smartプラットフォームまたはこのテクノロジーを搭載した家電製品の今後のリリース、関連製品、またはこのような製品の性能、機能、または特徴の変更は、CSRおよびその顧客の継続的な評価の対象であり、実現されるかどうかは不確実であり、CSRまたはその顧客の確約と見なすことはできず、購入の判断に利用するべきではありません。このような予想に関する記述は、CSRの経営陣の現時点での予想と見解を表しており、CSRの事業戦略とCSRが事業を行う環境に関与する多数の仮定の上に成り立っているため、未知または既知のリスク、偶発性、不確実性、およびその他要因が複雑に関連しており、その多くはCSRが管理しうる範囲外に属します。これらの要因の一部は、SECのWebサイト(<http://www.sec.gov>)で公開されているCSRの定期レポート(「Risk Factors(リスク要因)」または「Forward Looking Statements(将来予想に関する記述)」という見出しの下、またはその他の箇所)で詳述されていますが、それらに限定されません。予想に関する各記述は、その日付の時点での記述です。法に定めのある場合を除き、CSRは、ここに記載されている予想に関する記述について更新または改訂があった場合でも、公式にリリースする責任を負いません。

*Bluetooth®およびBluetoothロゴは、Bluetooth SIGが所有する商標であり、CSRにライセンスされています。

*本文書に記載されているその他の製品、サービス、名称は、該当するそれぞれの所有者の商標である場合があります。

<報道関係お問い合わせ先>

広報代行 株式会社プラップジャパン 谷本、鈴木

電話:03-4570-3191 E-mail: csr_pr@ml.prap.co.jp

<お客様、ユーザー様お問い合わせ先>

シーエスアール株式会社

深田 学

電話:03-6403-7100 Email: prjp@csr.com